

工学院大学のキャリア形成・就職支援の取組

【ご説明させていただくキーワード】

- ✓教育と就職活動の連携・教職協働
- ✓学び・研究を活かしたキャリア形成・就職支援
- ✓生成AIの活用



工学院大学 教育推進機構国際キャリア科
二上 武生(ニカミ タケオ)

本学の未来像

より魅力ある時空間的利便性が高い教育の場
社会が求める技術と柔軟な教育環境の提供

未来像実現に向けて

目指すべきもの

学修の効果の向上および学修者の主体性と自立力の涵養

最先端の学修環境で社会の「もの・こと」づくりを担う、
優れた人材を輩出

大学の取り組み

成果

(「2026年度授業実施全体方針」蒲池副学長より)

学修とは何か？

知識としての学び

授業内容，カリキュラム

体験としての学び

課外活動・ボランティア・
インターンシップ・アルバイト

本学が捉える

学修の成果

学生の自覚

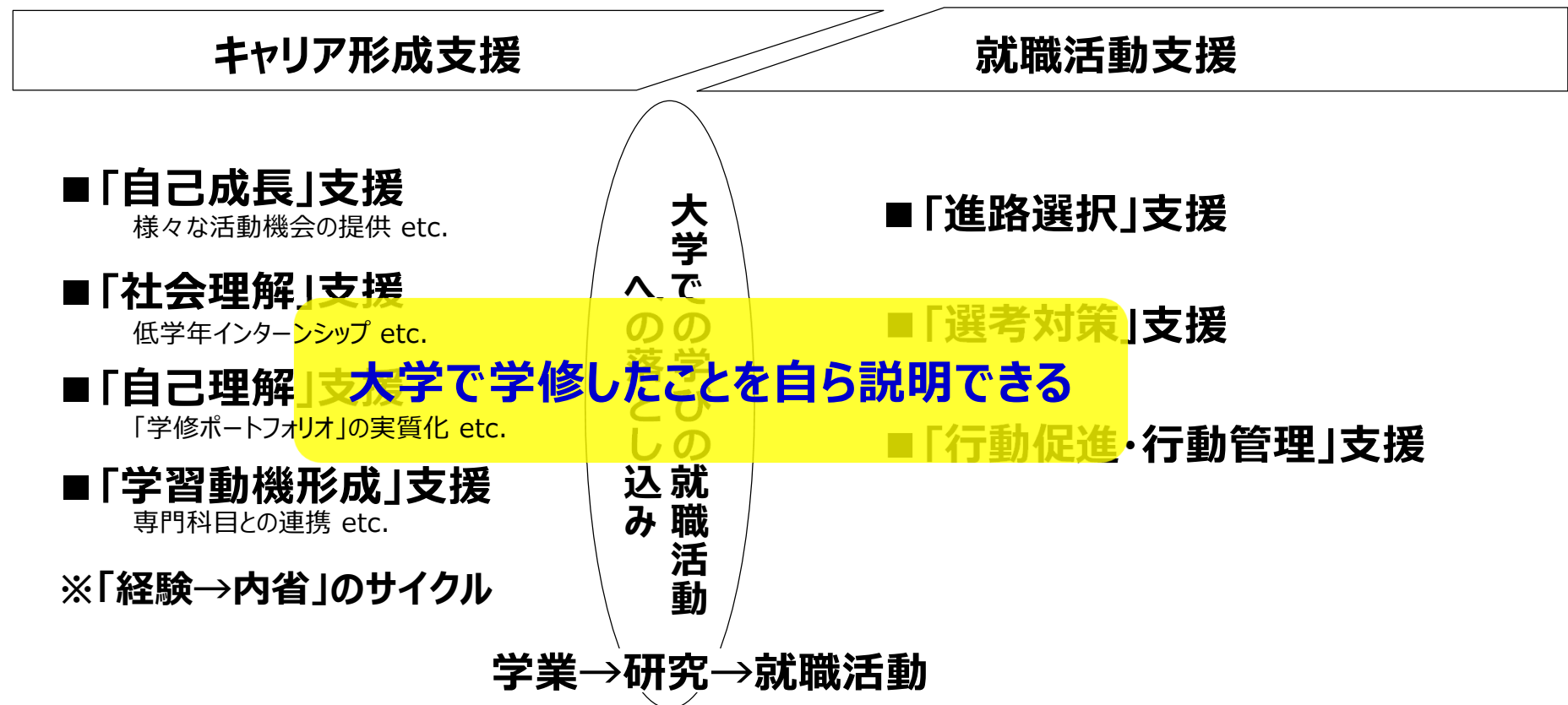
||

大学で学修したことを自ら説明できる

(「2026年度授業実施全体方針」蒲池副学長より)

- ・キャリア教育とは低学年から就職活動支援を行うことではない
- ・「大学での学び・研究を活かしたキャリア形成・就職活動支援」を指針
 - 大学での様々な学びをいかした進路選択ができるようになる
 - 大学で学んだことを、自信をもって語ることができるようになる

【キャリア形成支援・就職活動支援の全体像】



「大学での学び・研究を活かした就職」には、専門知識から理数系の基礎知識等、幅広い活かし方がある

「大学での学び・研究を活かした就職」とは？

直接的
(狭義)

1. 研究テーマを直接活かす

より大学院生

2. 研究活動や専門で培った専門技術を活かす

より大学院生

ex. 実験技術、調査方法、設計技術、情報処理技術、統計処理技術

3. 専門基礎知識を活かす

ex. 機械・化学・電気電子・建築・情報処理に関わる基礎知識、専門領域に関する考え方（視点等）

4. 理工系の学びを活かす

ex. 数字に強い、科学的思考法、学び方を学ぶ

間接的
(広義)

5. 大学生活で培った力を活かす

ex. 課外活動でのコミュニケーション能力

- ✓ キャリア形成支援から就職支援へのハブ（大学での学びの就職活動への落とし込み）
- ✓ 効率化ではなく教育的視点→言語化をととして学生の自己内省を支援すること（思考負荷をかけさせる）
- ✓ AIに任せること、学生にやらせること、教職員が行うことの役割分担
- ✓ 学生の適切な活用を促すためのプロンプト制御を組み込む

P R E S S R E L E A S E



KOGAKUIN UNIVERSITY
KUTE-TOKYO
Kogakuin University of Technology & Engineering

学校法人 工学院大学 経営企画部広報課
〒163-8677 東京都新宿区西新宿 1-24-2
TEL: 03-3340-1498 / FAX: 03-3340-1648
e-mail: gakuin_koho@sc.kogakuin.ac.jp

報道関係各位

2026 年 2 月 19 日

二上武生教授(教育推進機構)、「答えを出さない」キャリア支援生成 AI の開発に 学術アドバイザーとして参画

工学院大学(学長: 今村 保忠、所在地: 東京都新宿区/八王子市)の二上武生教授(教育推進機構 国際キャリア科)は、株式会社ベネッセキャリア(本社: 東京都新宿区)のキャリア支援ツール「キャリアチュートリアル」の開発に学術アドバイザーとして参画しました。

生成 AI の活用が広く浸透しつつあり、目的や場面に応じて賢く使い分けられる力が、これからの社会に求められています。学生が自律的なキャリア形成を促進する上で、特に自己分析を通じた自己理解の深化が重要であり、その過程において生成 AI を戦略的に活用する学生の姿も見られるようになってきました。

本ツールは、生成 AI を単なる効率化の手段としてではなく、言語化を通して学生の「自己内省を支援」することを目的とした、先進的な教育モデルを提示するものです。

どちらかを
選択してください

業界を絞って対話する

業界を絞らずに対話する

01 キャリアカウンセリングAI
対話を通して価値観を言語化し、業界や職種を発見しましょう。

キャリアカウンセリングAI

はじめまして！今日はようしくお話しします。あなたの
熱中した経験や得意だったこと、または興味を持っ
ていることを教えていただけますか？

メッセージ 送信

最初からやり直す(リセット) リセット 保存する 気になる企業の
入力はこちら

02 はたらく上で大事にしたい価値観
カウンセリング結果を基に確認しましょう。

AIが言語化した価値観を確認し、自分の言葉で残しておきましょ
う

03 提案された業界 同じものがない場合は別のものを選べましょ
う
カウンセリング結果を基にプルダウンから選択しましょう。

1つ目 Select...
2つ目 Select...
3つ目 Select...

04 提案された職種 同じものがない場合は別のものを選べましょ
う
カウンセリング結果を基にプルダウンから選択しましょう。

1つ目 Select...
2つ目 Select...
3つ目 Select...

キャリアチュートリアルβ版「キャリアカウンセリングAI」より抜粋

■「キャリアチュートリアル」の設計コンセプト

＜取材に関するお問い合わせ＞
学校法人 工学院大学 経営企画部広報課/担当: 近藤・塩原
TEL: 03-3340-1498 / [お問い合わせフォーム](#)

P R E S S R E L E A S E



KOGAKUIN UNIVERSITY
KUTE-TOKYO
Kogakuin University of Technology & Engineering

学校法人 工学院大学 経営企画部広報課
〒163-8677 東京都新宿区西新宿 1-24-2
TEL: 03-3340-1498 / FAX: 03-3340-1648
e-mail: gakuin_koho@sc.kogakuin.ac.jp

「キャリアチュートリアル」は、一般的な生成 AI とは大きく異なり、あえて「答えを出さない」ことが特徴です。学生が自ら答えを導き出すことを重視し、あえて負荷を与えることで、思考の質を徹底的に深めます。「型」や「視点」を提示し、それをもとに学生自身が考え、アウトプットとして言語化するプロセスを繰り返す構成とすることで、内省の深化を促します。対話のフローが構造化され、最終的なアウトプットは学生自身によって行われる点が大きな特徴です。

■ 工学院大学での導入事例

工学院大学は、学び・研究を活かしたキャリア形成支援・就職支援を行っており、学生自身の学修、研究活動、課外活動などの成果を第三者へ自信を持って説明できる力を養うため、低学年次から自己成長・自己理解を深める機会を創出しています。「学ぶ」と「働く」のつながりの理解を深め、学んできたことを今後のキャリアの中で活かすことができる力を育成することを目的とし、学部 2 年後期に開講される「キャリアデザイン」の授業で本ツールを導入。早期から「AI との適切な対話」で経験を積むことで、学生自身のキャリアを客観視する姿勢を養っています。

【学生アンケートに見られる傾向】

「キャリアデザイン」に対するアンケートでは、単なる効率化への評価ではなく、「自分自身の経験を深堀りできた」「納得感のある自己分析ができた」といった、より深く自身を見つめ直すことができた点に対する肯定的な反応が多く得られています。また、「就職活動として具体的に何をやればよいかかわかった」のように当ツールを利用することで学生にとって不安が大きい就職活動に一歩踏み出すきっかけとなったことがうかがわれます。

【生成 AI を学修の質向上につなげる取り組み】

工学院大学は、2023 年に「生成人工知能の学修利用に関するガイドライン」を公表しました。本ガイドラインでは、生成 AI の利用そのものを制限するのではなく、学生が主体的に学修に取り組むことを前提に、大学教育における生成 AI の位置づけを整理しています。

今回の「キャリアチュートリアル」における生成 AI の活用は、こうしたガイドラインの考え方にに基づき、学生の思考や判断を支援する実践的な取り組みとして、教育機関における新たな活用モデルの提示を目指しています。

二上武生教授(教育推進機構 国際キャリア科)コメント

「今回開発に参画したツールには、これまで蓄積してきたキャリア形成支援・就職支援のノウハウが詰めこまれています。生成 AI は、正しく使えば学生の思考を何倍にも深める「教育的ツール」になります。本取り組みで目指したのは、AI に答えを委ねるのではなく、AI との対話を通じて学生が自分自身の物語を発見することです。3 月の解禁を前に、就職活動が単なる作業ではなく、自分を見つめ直す貴重な成長機会となるよう、そして自分自身の無限の可能性を開花できるように支援してまいります。」

【関連リンク】
・株式会社ベネッセキャリア: [キャリアチュートリアルとは？](#)

＜取材に関するお問い合わせ＞
学校法人 工学院大学 経営企画部広報課/担当: 近藤・塩原
TEL: 03-3340-1498 / [お問い合わせフォーム](#)